

環境調査結果のお知らせ

平成28年8月4日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温25～29℃、塩分32～34、溶存酸素量6～7mg/lでした。

透明度は4～8mで、有害種のヘテロシグマ・アカシオ、シャットネラ属、カレニア・ミキモトイ、ミリオネクタ・ルブラが少数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温25.3～29.3℃、塩分32.3～34.0でした。

前回調査時(H28.7.7)と比較して、水温は全層で1.6～3.8℃上昇しました。塩分は表層から5m層で0.7～2.4上昇し、10m層から底層で0.2～0.4低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.0～7.2mg/lでした。前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.1～0.6mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.0～8.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で2cells/ml、シャットネラ属が最高で1cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で1cells/ml、貝類に有害なミリオネクタ・ルブラが最高で4cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

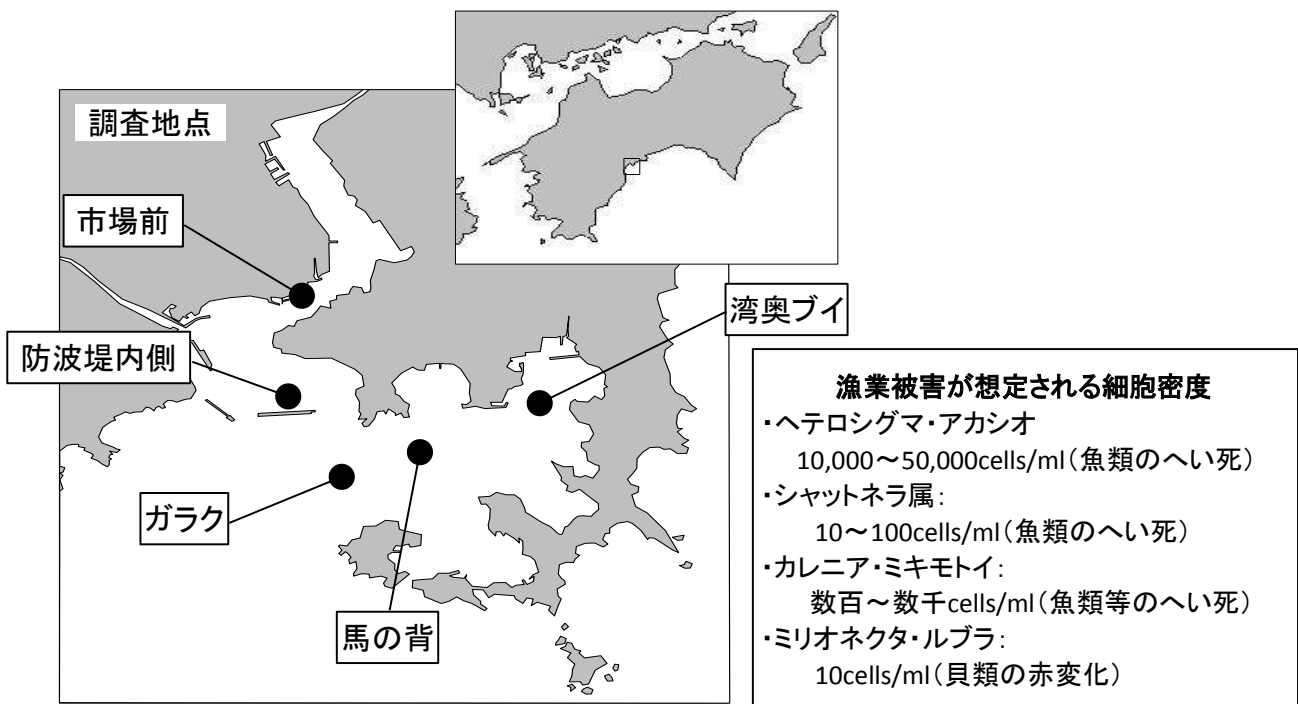


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.7.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	29.0	29.3	28.8	28.4	29.0	27.4	1.6	29.0
2m	28.8	28.9	28.5	28.4	28.7	26.3	2.4	28.4
5m	28.4	28.5	28.2	28.2	28.4	25.2	3.2	28.3
10m	27.9	28.0	28.0	27.6	28.0	24.2	3.8	27.2
B-1m	25.6	25.3	27.2	26.6	26.0	23.1	2.9	27.0

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.7.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.3	33.3	33.4	32.3	33.3	30.9	2.4	31.6
2m	33.3	33.4	33.4	32.8	33.4	31.9	1.5	32.8
5m	33.5	33.5	33.5	33.4	33.5	32.8	0.7	33.2
10m	33.5	33.5	33.5	33.5	33.5	33.7	▲ 0.2	33.6
B-1m	34.0	34.0	33.7	33.8	33.9	34.3	▲ 0.4	33.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.7.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	6.8	6.8	6.7	7.2	6.8	7.3	▲ 0.5	7.3
2m	6.8	6.8	6.6	7.2	6.7	7.2	▲ 0.5	7.0
5m	6.6	6.5	6.3	6.8	6.4	7.0	▲ 0.6	6.8
10m	6.3	6.2	6.2	6.6	6.2	6.8	▲ 0.6	5.9
B-1m	6.0	6.3	6.5	6.3	6.3	6.4	▲ 0.1	5.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	15.6	23.2	15.9	14.7	12.0
透明度	4.5	7.5	8.0	4.0	2.5
前回(7/7)	5.5	6.0	6.6	4.0	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	ミリオネクタ・ルブラ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	1	700
	2m	0	0	0	0	520
	5m	1	0	1	0	450
馬の背	0m	0	0	0	0	550
	2m	0	0	0	1	1,300
	5m	0	0	0	1	600
ガラク	0m	0	0	0	0	1,300
	2m	0	1	0	1	1,150
	5m	2	0	0	0	1,150
津波防波堤内側	0m	0	0	0	4	12,000
	2m	0	0	0	1	1,900
	5m	0	0	0	1	2,700
市場前	0m	0	0	0	0	10,700
	2m	0	0	0	2	10,400
	5m	0	1	0	1	5,700